

学校施設の適正配置に関する考え方の概要

湯河原町教育委員会学校教育課

本日お配りした「学校施設の適正配置に関する考え方」は、令和5年度を目途として「今後の町立幼稚園及び小・中学校のあり方」を策定するために必要となる基本的な考え方となるもので、湯河原町の学校教育の現状と今後（令和14年（2032年））、湯河原町の目指す教育などを示したもので、令和4年8月、湯河原町教育委員会が策定したものです。

1 「学校施設の適正配置に関する考え方」は、次の4点から構成されています。

- ① 10年後（2032年）の湯河原町の学校教育とは
- ② 活力ある幼稚園、小学校及び中学校とは
- ③ 魅力ある湯河原の教育、幼稚園、小学校及び中学校とは
- ④ 幼稚園、小学校及び中学校の適正規模・適正配置とは

2 10年後（2032年）の湯河原町の学校教育は、次の3つの理念を主体とします。

- ① 一定の学習水準を保ちつつ、児童・生徒一人ひとりの個性を育成し、将来の目標に向けた学習を支援する。
- ② 町立学校間で差のない教育を提供できる環境を整える。
- ③ 町民が共に生き、支え合う地域社会における生涯学習の基礎を培う。

3 現状と今後

① 児童生徒数

令和3年4月の児童生徒数は、3小学校、1中学校の合計で1,246人ですが、令和10年4月の想定児童生徒数は、3小学校、1中学校の合計で807人となり、令和3年4月の児童生徒数の約65パーセントまで減少することが見込まれます。

② 学校教育施設

校舎、体育館など施設の現状は、湯河原小学校では建築後46年から55年、吉浜小学校では40年から54年、東台福浦小学校では36年、湯河原中学校では40年から41年を経過し、10年後には建築後60年を経過する校舎等があり、改修後さらに30年使用する長寿命化改修ではなく、建て替えが必要と考えられる施設が出てきます。

4 文部科学省の示す学校の適正規模の標準は、次のとおりです。

- ① 幼稚園 学級数は全体6～9、1学年あたり2～3、1学級あたりの人数30人
- ② 小学校 学級数は全体12～18、1学年あたり2～3、1学級あたりの人数35人
- ③ 中学校 学級数は全体12～18、1学年あたり4～6、1学級あたりの人数40人

5 適正配置

令和10年（2028年）の想定児童生徒数を踏まえ、活力ある幼稚園、小学校及び中学校を目指すこととなると、現状どおりの配置とすることは難しいと考えます。

令和 10 年度（2028年度）の学級編制

（小学校 児童数・学級数）

学年	湯河原小学校		吉浜小学校		東台福浦小学校		合 計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年生	41	2	29	1	7	1	77	4
2 年生	29	1	33	1	11	1	73	3
3 年生	39	2	30	1	12	1	81	4
4 年生	38	2	37	2	13	1	88	5
5 年生	34	1	33	1	11	1	78	3
6 年生	38	2	50	2	6	1	94	5
計	219	10	212	8	60	6	491	24

（小学校 学級別児童数等）

学年	湯河原小学校		吉浜小学校		東台福浦小学校		合 計	
	児童数	児童数	児童数	児童数	児童数	児童数	児童数	学級数
1 年生	21	20	29	—	7	—	77	4
2 年生	29	—	33	—	11	—	73	3
3 年生	20	19	30	—	12	—	81	4
4 年生	19	19	19	18	13	—	88	5
5 年生	34	—	33	—	11	—	78	3
6 年生	19	19	25	25	6	—	94	5
計	219		212		60		491	24

（小学校 適正規模の標準により学級編制）

学年	小 学 校			合 計	
	児童数	児童数	児童数	児童数	学級数
1 年生	26	26	25	77	3
2 年生	25	24	24	73	3
3 年生	27	27	27	81	3
4 年生	30	29	29	88	3
5 年生	26	26	26	78	3
6 年生	32	31	31	94	3
計				491	18

（中学校 適正規模の標準により学級編制）

学年	中 学 校			合 計	
	生徒数	生徒数	生徒数	生徒数	学級数
1 年生	34	34	34	102	3
2 年生	32	31	31	94	3
3 年生	40	40	40	120	3
計				316	9

